



○ 足もとの草むらは元気一杯。よく見ると様々な色や形が満載。そして、時折、

空から「ピッキー(天気えーー)」という、なんともんびりした声が降ってきます。 aiko.

★ 都市公園で自然観察会 県立春日公園での自然観察会(150回)

日時:6月15日(土)10時から12時まで 集合場所:公園の中央付近にある自然あそび館

「問い合わせ先」 担当:田村耕作 Tel 090-8220-6160(田村の携帯)

参加費 会員200円 一般 300円 生きものに关心のある方ならどなたでも

注意 各団体とも、様々な状況により、下記の予定も当日でも変更になることがあります。

詳しくは各団体にお問い合わせください。

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

6月16日（日）7月21日（日）

天拝山探鳥会（筑紫野市）

時 間：8:00～11:00

集 合：天拝山歴史自然公園

問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

6月23日（日）7月28日（日）

久末ダム探鳥会（福津市）

時 間：8:00～11:00

集 合：久末ダム多目的広場横

問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

7月7日（日）

今津探鳥会（福岡市西区）

時 間：8:00～11:00

集 合：玄洋高校西側道路

問合せ：090-8220-6160（田村耕作）

7月13日（土）

大濠公園（福岡市中央区）

時 間：9:00～12:00

集 合：ポート乗り場前

問合せ：0920-573-1827（森健児）

7月14日（日）

和白海岸探鳥会（福岡市東区）

時 間：9:00～12:00

集 合：JR 和白駅前の公園

問合せ：092-606-0012（山本廣子）

7月2日（火）

県営春日公園（春日市）

時 間：10:00～12:00

集 合：音楽堂ステージ側（第5P）

問合せ：092-592-3423（小野仁）



三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

7月6日（土）

集 合：九州歴史資料館

第1駐車場

時 間：9:30～12:00

（早めに終わるかもしれません）

問合せ：092-920-3072

参加費：大人 200円

コロナ対策：ブログにて確認

ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で

検索

久留米の自然を守る会

6月19日（土）

キノコの観察会

集 合：浦山公園

時 間：9:30～13:00

参加費：200円

講 師：金子周平氏

問合せ：0942-43-7959（河内俊英）

今年もキノコたちに会いにいきませんか？

福岡植物友の会

6月16日（日）西南の杜湖畔公園

詳細は問合せください。

森部 實（092-862-1858）



和白干潟を守る会

6月22日（土）

定例会議

時 間：12:00～14:00

集 合：和白干潟を守る会事務所

問合せ：092-606-0012（山本廣子）

6月22日（土）

クリーン作戦 と自然観察会

時 間：15:00～17:00

集 合：海の広場 駐車場なし

長靴・軍手があると便利

問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）



2024年5月 私のデジカメ日誌より

今回は、5月1日(旧暦3月23日)~5月31日(旧暦4月24日)までのデジカメ日誌です。(文・写真 本のむし)



本のむし



5/2(旧3/24)筑紫野市天拝坂
先月、産卵するアゲハを観たが、
カラタチの葉の上に幼虫が5匹ほど葉を食べていた。食糧難だな。



5/2(旧3/24)筑紫野市天拝坂
黒い矢じり型のガの仲間。白い帯
があればホタルガの様。タケノホ
ソクロバだろうか。



5/3(旧3/25)吉野ヶ里公園
ハナゴケの仲間のコアカミゴケ。
豊穴住居の復元屋根にびっしり。
二千年前もこうだったのかな。



5/3(旧3/25)吉野ヶ里公園
カイコが盛んに桑の葉を食べ
ている。自然のクワコを飼い慣らし
たという。人に依存した生命。



5/3(旧3/25)吉野ヶ里公園
マグワの実が黒く熟しかかって
いた。母が小さい頃この実を食べ
て口を真っ黒にしていたそうだ。



5/3(旧3/25)吉野ヶ里公園
ダイミヨウセセリが鳥の糞を舐め
ている。九州では後翅に白線が
あるが関東では無いらしい。



5/3(旧3/25)吉野ヶ里公園
真っ黒なハラビロトンボのオス、未
成熟。この後だんだん青くなる。
二千年前も人の傍に居たよね。



5/8(旧4/1)筑紫野市天拝坂
ド派手な毛虫。コナラの葉にヒメ
シロモンドクガがいた。鳥もこの
派手さには食うのをためらうか。



5/10(旧4/3)太宰府市都府樓
南 鷺田川の昼下がり。コサギ
が右足をザブザブゆすって餌探し。
あっちこっちでザブザブ……



5/10(旧4/3)筑紫野市天拝坂
サラサウツギの花が開き始めた。
ウツギ(卯の花)の八重品種
で花の外側が紅色から更紗と。



5/26(旧4/19)筑紫野市天拝坂
クマノミズキの花にアオクサカメ
ムシが沢山吸蜜していた。今年
はカメムシが多いらしい。



5/27(旧4/20)筑紫野市天拝坂
ベニツチカメムシ。県準絶滅危惧
種。まさか自宅に現れるとは。近
くにボロボロノキがあるのか。



5/30(旧4/23)筑紫野市天拝坂
クヌギカレハの幼虫。7cmはあり
そう。怒ると頭の後ろの黒い部分
の毒の毛束を膨らます。



5/30(旧4/23)筑紫野市天拝坂
ホタルブクロの花が咲いた。花として
はホタルよりマルハナバチに来てほし
いよね。地下茎でもよく増える。



5/30(旧4/23)筑紫野市天拝坂
ティカカズラの花が咲いた。謡曲
「定家」によると藤原定家さんは、
ストーカーだったのか。

春日公園自然観察会 令和6年5月18日（土）【参加者数】5人【担当】、田村耕作

観察は、自然あそび館～芝生広場・調整池～ショウブ池～噴水広場～自然あそび館で歩いた。

観察内容 晴れ、23℃で開始。お昼には31℃と、気温上昇した。花の色に注目し、観察。色の表現は？

植物 ニワゼキショウ（薄紫、濃紫）、ヌカススキ、ヒエガエリ（赤茶）、イヌガラシ（黄）、オオバコ（白）

トキワハゼ（薄紫）、キツネノボタン（黄）、ギシギシ（薄緑）、カワヂシャ（薄紫）、ウチワチドメグサ（薄黄）、

ニガナ（黄）、カヤツリグサの一種、オオイヌノフグリ（青）、コナスビ（黄）、ヒメジョン（薄い桃色

で白に近い）、オヘビイチゴ（黄）、ヒナギキョウ（やや薄目の青）、ハハコグサ（黄）、フデリンゴウ（薄い青）ムラサキカ

タバミ（桃色）、カタバミ（黄）、タチイヌノフグリ（青）、スズメノヤリ（茶）、キンシバイ（濃黄）、オニタビラコ（黄）、

ツツジ（赤紫色、薄紅色）アジサイ（青、薄紫）、セイヨウヒキヨモギ（黄）

スモークツリー（花の色不明、雌雄異株）

昆虫／ウスバキトンボ、ヒメアカタテハ、ヤマトシジミ、

野鳥 ダイサギ、ササゴイ（そばの川）、キジバト、ハクセキレイ、ツバメ、ヒヨドリ、メジロ、シジユウカラ、スズメ、カワラヒワ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、カワラバト。

感想（参加者の声）

- カワヂシャの花の色が繊細だった。
- ウチワチドメグサの葉が水の中、地面と生える場所で、その大きさが異なっていた。
- キツネノボタンの種子の形がかわいらしい。
- スモークツリー（ウルシ科）の情報をもっと知りたい。

原産国、花の色や形、種子の形など。（皆さんの宿題とする）

自然あそび館前でニワゼキショウの花から観察開始 コナスビの花は黄色



白と黄色のヒメジョン



薄い青のフデリンゴウ



カタバミ



アジサイ



セイヨウヒキヨモギ



撮影 5/18：田村耕作



以上

会員からの投稿 (1) 渋田和美

久しぶりにハンドブックシリーズを購入しました。虫を探すには食べ物を知る必要がありますが、虫が全く苦手、植物も自分が染料にしているもの以外ほぼわからない。そんな私を助けてくれそうなこの図鑑、本日届きました。なかなか役立ちそうです。6/6



会員からの投稿 (2) 秋山芽生子 博多湾の東部を中心に活動中

博多湾東部の和白干潟、雁の巣の干潟、その周りで2024年5月に見かけたいきものを紹介します。
魚をくわえたササゴイ シジュウカラ幼鳥 カラシラサギ ソリハシシギ



魚をくわえたササゴイ

シジュウカラ幼鳥 賑やかです

カラシラサギ



ハクセンシオマネキ

シジュウカラ幼鳥



セイタカアワダチソウの先に止まったカワラヒワ



会員からの投稿 (3) ナイス福岡事務局



ナイス福岡の展示

毎年「国際生物多様性の日（5/22）」に合わせて開催している福岡市「生きものと私たちのくらし展 期間5/20~27」に、会員の志賀壮史さんの協力を得て参加しました。

場所は、福岡市役所1階のロビーです。参加団体は、個人・団体。行政合わせて18組でした。この期間に来場者数は推計2,022人とのことです。アンケートによると全員が「今のパネル展で新しい発見や気づきがあった」と回答されており、展示の成果があるようです。一部、グリーンシティ福岡のブログ記事を引用



会場の様子



会員からの投稿 (4) 田字草

- ・樋井川で見かけました。
 - ・観察する機会が増えているのでしょうか。タテハモドキ、翅の一部が欠けていた。
 - ・河原で、コチドリが2羽で動いていた。子育てを期待したい。
 - ・今年は、観察する機会が少なくなったササゴイです。巣作りはしているようです。



街の中を流れる樋井川は、生きもの大切な場所です。川の有り様が、重要です。

会費振込について 会計年度は6月1

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2024年度会費を、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費:2000円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

 定例会に参加してみませんか？
次回の定例会は 令和6年3月

次回の定例会は、令和6年7月12日（金）午後2時より事務局で行います。令和6年7月号の原稿は、7/9（火）までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

○2024年度の定例総会、6月30日（土）10時から春日公園の自然あそび館で行います。

10時から公園内を散策、11時から自然遊び館にて、定例総会を実施予定です。

会員の皆様、公園でお会いしましょう。



編集後記 2024年5月の定例発送会は、藤川漣と田村耕作が、それぞれの自室で作業。

くすのき5月号の感想を5/11にいただきました。ツバメの繁殖 その後が届きました

先月、家で抱卵中のツバメについて報告をして下さいということでしたが、残念ながらカラスの襲撃に遭い子育てはできませんでした。ここ10年ほど毎年ハラハラしながら見守っていますが、こんな目に遭うとしばらく帰って来ません。最近様子を見に来たり夜だけ帰ってきたりしていますので多分また子育てを始めるのではないかと期待しています。カラスによる襲撃は巣を修復するところから始めなければならないので大変です。　溝口澄子

舞鶴公園を散策中、各種の幼鳥に出会いました。たとえば、シジュウカラ、ハシブトガラス、アオサギ、カワウ、スズメ、カモの仲間、ツバメなどです。別の日には、コゲラ、ヒヨドリ、ヤマガラ、ハクセキレイを見かけました。この時期、巣立ちした後に親鳥から食べものをもらう様子に出会うことが多いです。なにを食べているのか気になります。

写真は、大濠公園から舞鶴公園となる一段高くなっている樹木の多い所です。そのそばの電線に4羽の幼鳥とまっていました。飛び出しても、止まりを繰り返していました。親がやってくる姿を待つ。幼鳥は大きく口を開けて、たべものを受取る。このことの繰り返しで成鳥へ、秋に旅立つ。

「こういう自然な環境が維持されていることが大切だと思います。」



2024年6月8日舞鶴公園にて 食べものを受取るツバメ幼鳥